

令和元年度第 2 回 新潟市区自治協議会会長会議

次 第

日時：令和元年 1 2 月 2 日（月）

午後 4 時 00 分から

会場：市役所本庁舎 6 階 執行部控室

1 開 会

2 議 題

(1) 第 7 期各区自治協議会の運営状況について

(2) 区自治協議会全体委員研修会について

(3) その他

3 閉会

【資料】

資料 1：令和元年度 「区自治協議会委員研修会」の記録 添付省略

参考資料 1：「令和元年度 市長とすまいるトーク」での主な内容について

令和元年度 第2回区自治協議会会長会議

日 時	令和元年12月2日(月)午後4時00分～午後5時30分	
会 場	新潟市役所 本館6階 執行部控室	
出席者	会 長	松田 正實 北区会長、後藤 岩奈 東区会長、 外内 光春 中央区会長、小林 勲 江南区会長、 金子 洋二 秋葉区会長、小田 信雄 南区会長(座長)、 下川 照雄 西区会長、長井 正雄 西蒲区会長
	事務局等	市民生活部長、市民協働課長ほか
傍聴者	1名	
主な議題	<p>1 議題1 第7期区自治協議会の運営状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> 各区自治協議会の運営状況や、自治協提案事業の進捗状況等について、各会長から概ね以下のとおりの報告があった後、意見交換を行いました。 <p>【各会長からの報告】</p> <p>(北 区)</p> <ul style="list-style-type: none"> 約7割が新しい委員となったが、回を重ねるごとに活発な意見が出るようになってきている。 最近特に議論された事項は、災害対応についてである。先の地震・台風発生時における地域の動きや、避難所開設基準・運営上の課題について活発な意見交換を行った。 10月に開催した区委員研修では、障がい者就労支援施設や福島潟等を視察し、地域の課題や魅力に関する理解を深めた。 自治協提案事業では、小学生を対象にした音楽イベントや、区内の見守り活動を行う団体・自治会等を対象とした見守り活動の勉強会等を開催した。 <p>(東 区)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度の自治協提案事業として、7つの事業に取り組んでいる。 じゅんさい池の自然環境保全事業では、地域の方々約90名とともに清掃活動を行った。発災時の地域防災対策の研究事業では、県立大学の学園祭で防災に関する展示を行った。東区めぐり子どもバスツアーでは、小学4～6年生を対象に東区の産業や歴史を学んでもらうツアーを開催した。東区の魅力PR・おもてなし事業では、寺山こい来いフェスタに参加した。農産物の魅力発信事業では、東区区民ふれあい祭りでのPRブース出展等を行った。公共交通の研究事業では、移動販売や住民バスについて市内視察を行う。また県立大学と連携し、ワークショップ形式の意見交換会も開催した。 来年度は、これまでのイベント型の事業から、地域課題の調査研究に基づく課題解決型へと方向性をシフトする予定である。 <p>(中央区)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体会議の活性化を図るため、今期から提案書を作成し、毎回の全体会議で配布することとした。提出された提案書の内容については、総務運営会議で検討したのち、全体会議に諮ることとしており、これまで「街路樹と歩道花壇の維持管理」をテーマとした意見交換などを行っている。 	

- 本会議にかかる内容の充実化や委員の負担軽減を図るため、7月を休会とした。
- 8月の全体会議終了後、防災や避難所運営に関する委員研修会を開催した。当日は、避難所運営に関するシミュレーションゲームを行い、委員同士の交流が図られたほか、地域の代表として災害について考え行動するきっかけとすることができた。

(江南区)

- 自治協と区役所との更なる連携強化を図るため、今期は「区役所と自治協との情報共有・連携の強化」と「部会の活性化」の2つをテーマに運営を進めている。
- 「区役所と自治協との情報共有・連携の強化」では、現在の課題や区役所企画事業の進捗状況を把握し、自治協が支援できる体制を構築するとともに、区長との意見交換を行っている。
- 「部会の活性化」では、各委員の出身団体を踏まえ、委員の強みを最大限生かせる部会員構成とした。各部会では、所管分野に関する課題・事業に対し議論を重ね、予算編成への提案・意見出しを行っている。

(秋葉区)

- 全体会議関係では、従来から取り組んでいる出張開催を新関地域で行うとともに、その機会に併せ、来年度の特色ある区づくり予算アイデアをワークショップ形式で考える検討会も開催した。また先月の全体会議後には、区選出の市議会議員との意見交換会も開催し、活発で前向きな議論を行うことができた。
- 部会関係では、民間と自治協との協働で地域課題の解決に取り組む「きらめきサポートプロジェクト」、認知症予防等に向けた事業「笑って、歌って、楽しく健康づくり」、子どもたちの地域への関心・愛着等を高める「あきは子ども大学」といった事業に取り組んでいる。
- そのほか、自治協の活動を紹介する広報紙「あきはくはつものがたり」の発行にも引き続き取り組んでいる。

(南区)

- 審議機関としての役割を果たすため取り組んでいる区長マニフェストや区政の検証については、部会や全体会のなかで、多くの意見出しと評価を行った。
- 11月には、特色ある区づくり予算に関する検討を行った。かつてないほどの事業提案があり、白熱した議論を行うことができた。
- 自治協提案事業としては、地域活動団体による取組みを応援する「まちづくり活動サポート事業」などを行っている。本事業のなかでは、メディアでも大きく取り上げられた「白根子行進曲仮装行列復活プロジェクト」など、地域へ新しい風・活力を生み出す取組みが生まれている。

(西区)

- 今年度は、重点的に取り組む地域課題として、管理不全な空き家にしないための取組み、地域の担い手育成の取組み、支え合いのしくみづくりの輪を広げる取組み、区の魅力発信・賑わい創出の取組みの4つを掲げている。
- 空き家にしないための取組みとしては、空き家対策に関する実際の取組み事例をヒントにしながら、地域として何ができるかを考えるきっかけ

づくりを図るため、シンポジウムを開催した。シンポジウムでは、区内・県外の自治会長等からユニークな取組みを紹介していただき、大変好評であった。

- 地域の担い手育成に関する取組みとしては、自治会等の行事・活動見直しや行事カレンダーの制作・配布といった取組みを通し、地域内の関係づくりや地域活動への参加促進を図るための研修会を開催した。

(西蒲区)

- 審議機関としての役割を發揮するためには、具体的な課題に対する理解を深めることが重要との認識から、子どもの貧困や子ども食堂をテーマとした委員研修会を南区自治協と合同で開催した。
- 今年度の自治協提案事業の一つとしては、昨年度も大好評であった認知症予防に関する講演会を行う予定である。
- 来年度は、合併した旧5町村の一体感醸成をさらに進めること、及びこれまでの予算ありきの事業立案体質からの脱却を図ることを念頭にしながら事業を組み立てていく予定である。また、そのような組み立てにより捻出した予算をもって、区役所主体の事業（区役所企画事業）においても区の一体感醸成に資する取組みを進めるよう配慮を求めた。

【意見交換】

- イベント型事業の継続性、避難所運営、防災士の養成に向けた取組みのあり方などについて意見交換を行いました。

2 議題2 区自治協議会全体委員研修会について

- 令和元年7月1日に開催された全体委員研修会の概要について事務局から説明した後、公共施設に対する協議のあり方など自治協の役割について意見交換を行いました。

会議資料

□次 第

□資料1：令和元年度「区自治協議会委員研修会」の記録

□参考資料1：「令和元年度市長とすまいるトーク」での主な内容について

※詳細については、後日、改めて掲載いたします。

「令和元年度 市長とすまいるトーク」での主な内容について

1 子育て支援関係について

- 特に小規模な放課後児童クラブにおいて支援員が不足しているため、
人員面や財政面での支援をお願いしたい。
- 初めての子育てに取り組む保護者と子どもを対象にした事業について、
引き続き実施してほしい。

2 健康寿命の延伸等について

- 運営しやすい地域の茶の間となるよう、条件の緩和や参加者の送迎
支援をお願いしたい。

3 その他市政運営について

- 利便性の高い公共交通の推進をお願いしたい。
- 空き家の対策や利活用の取組みを進めてほしい。
- 中央部へ資源を集中させるのではなく、分権と自治と協働によるまちづくりを進めてほしい。